

管理 No.213 【CPT-11+TS-1 併用療法】 2015年1月4日作成

取り違い注意: CPT-11+TS-1 併用療法には、胃がん用と大腸がん用があります。

疾患名 : 進行・再発大腸がん 1クール : 28日 総クール数 : PDあるいはPS悪化まで

1. 薬剤

抗癌剤一般名	商品名	標準投与量	投与日	用量規制毒性
イリノテカン	イリノテカン塩酸塩「タイホウ」	125 mg/m ²	Day1、15	骨髄抑制、下痢
S-1	ティーエスワン	80 mg/m ²	Day1-14	血液毒性(グレード3以上)、消化器症状(グレード2以上)

2. レジメン

投与日	ルート	投与時間	使用薬剤名	標準投与量	備考
Day1-14	内服(1日2回)		ティーエスワン	80 mg/m ²	
Day1.15	点滴静注	30分	アロキシ(0.75mg/5mL)	1V	イリノテカン投与30分前
			デカドロン(3.3mg/1mL)	3A	
			生食 50mL		
Day1.15	点滴静注	90分	イリノテカン塩酸塩「タイホウ」	125mg/m ²	直射日光を避けること
			生食 500mL		

3. 初回投与基準

- PS規定: PS 0~2
- ヘモグロビン \geq 9.0g/dL、白血球数 3500~12000/mm³、好中球数 \geq 2000/mm³、血小板数 \geq 10万/mm³
- 総ビリルビン \leq 1.5 \times 正常値、AST、ALT \leq 100 IU/L($<$ 2.5 \times 正常値)
クレアチニン \leq 1.2mg/dL、($<$ 正常値、クレアチンクリアランス \geq 80mL/min)
- 下痢 グレード0 および水様便なし
- 上記以外の非血液毒性 グレード0~1

参考: ティーエスワンの単剤での基準

4. 休薬基準(休薬を考慮する値・症状など)

- 白血球数 $<$ 2000/mm³、好中球数 $<$ 1000/mm³、血小板数 $<$ 7.5万/mm³
- AST、ALT $>$ 100IU/L(\geq 2.5 \times 正常値)、クレアチニン \geq 1.5 \times 正常値、(クレアチンクリアランス $<$ 30mL/min 休薬、 $<$ 60mL/min 減量)
- グレード2以上の下痢、口内炎
- 上記以外の非血液毒性 グレード3以上 ※便秘、食欲不振、悪心、疲労 除く

5. 休薬後再開基準

- 白血球数 \geq 3000、好中球数 \geq 1500/mm³、血小板数 \geq 10万
- AST、ALT $<$ 100 IU/L($<$ 2.5 \times 正常値)、(総ビリルビン \leq 1.5 \times 正常値)
クレアチニン \leq 1.2mg/dL、(クレアチンクリアランス 30mL/min 以下には再投与しない)
- 下痢、口内炎 グレード1以下
- 上記以外の非血液毒性 グレード1以下 ※便秘、食欲不振、悪心、疲労 除く

参考: ティーエスワンの単剤での基準

6. 減量基準 (以下の値、症状が出現した場合、次回再開時減量を考慮する。)

ティーエスワン減量基準

- 白血球数 $<$ 1000/mm³、好中球数 $<$ 500/mm³、血小板数 $<$ 5万/mm³
AST、ALT \geq 200IU/L、クレアチニン \geq 1.5 \times 正常値、(クレアチンクリアランス \geq 60mL/min、30~40mL/minの場合 2段階減量)
- 下痢、口内炎 グレード3以上

イリノテカン減量基準

- 白血球数 $<$ 1000/mm³、好中球数 $<$ 500/mm³、血小板数 $<$ 5万/mm³
- 非血液毒性 グレード3以上 ※便秘、食欲不振、悪心、疲労 除く
TS-1 減量の目安 120mg/day \rightarrow 100mg/day \rightarrow 80mg/day \rightarrow 50mg/day
イリノテカン 減量の目安 125mg/m² \rightarrow 100mg/m² \rightarrow 80mg/m²

参考: ティーエスワンの単剤での基準

★参考までにティーエスワンの単剤での基準を一部()で表示